

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：尻手すきっぷ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高橋 和美	定員（利用人数）： 59名（63名）
所在地：〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4丁目26-13	
TEL：045-718-5127	
ホームページ： https://www.skip-hoikuen.com/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	2017年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社俊英館			
職員数	常勤職員：	17名	非常勤職員：	0名
専門職員	保育士	12名	看護師	1名
	管理栄養士（外部委託）	1名	調理師（外部委託）	2名
施設・設備 の概要	（居室数）		（設備等）	
	保育室5室、医務室兼事務室1室、調理室1室、職員休憩室、予備室、ホール		バリアフリースイレ、冷暖房、床暖房	

尻手すきっぷ保育園は、JR南武線尻手駅から3分ほどの所にあります。園の周囲には、住宅や商店、マンションなどが混在していますが、徒歩圏には自然豊かな公園が複数あり、子どもたちの散歩コースとなっています。園は、横浜市鶴見区と川崎市幸区の市境にあり、横浜市と川崎市双方から子どもを受け入れています。尻手すきっぷ保育園は、2017年（平成29年）4月に、株式会社俊英館によって開設されました。運営法人の保育事業部では、横浜市内で他に2園保育園を運営するほか、首都圏を中心に保育園や児童発達支援事業所、言葉の相談室などを運営しています。鉄骨造2階建ての園舎は、窓が大きく明るいです。砂場がある園庭があり、夏には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。片隅では、子どもたちが野菜や花を育てています。定員は59名（0歳児～5歳児、横浜市39名、川崎市20名）、開園時間は平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時～18時です。

③理念・基本方針

基本理念

地域と手を取り合い、子ども一人ひとりを暖かな眼差しで見守り育てていける保育環境をつくる

保育の基本方針

自主性や主体性をもった意欲あふれる子どもに育ててほしい

それには、一人ひとりの育つ力に“働きかけ”、“信じる”、“待つ”ことで花開かせる保育を行っています。

園目標

自分らしく輝く のびのびと

この「自分らしく輝く」という事は大人になっても、永遠のテーマではないかと思えます。乳幼児期に愛され、ありのままの自分を受け入れてもらい、幼児期には自分の思いを安心して出せるように見守り受け止めて自信に繋げていけるように支援しています。どんな子どもでも自分らしく自信をもって輝ける！そんな子どもを育ていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、主体的な保育を目指して各クラス取り組んでいます。大人の指示を待つのではなく自分で何をしたいのか、どうしたいのか考えられる子どもに育ててほしいと思っています。それにはどのような環境設定でどのような保育が望ましいのか話し合っていて決めています。そして子どもの意見を尊重して行事の内容や日々の活動を決めていきます。どこへ行きたいか何をしたいか、意見が分かれる事もありますが、うまく折り合いをつける事も学んでいます。毎月のおにぎり遠足や自分たちが収穫したさつまいもでの焼き芋会、自分たちで考えたデイリーのお泊り保育は子ども達の人気の活動です。毎日の活動も年長児は自分たちで決めています。また定期的にネイティブの英語講師の英語であそぼうという活動もあり地域の方も参加しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年8月9日(契約日)～2024年4月7日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(2018年度)

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●保育士の見守りのもと、子どもたちはそれぞれのペースで園生活を楽しんでいます

園は、職員会議等で話し合いを重ね、子どもが主体的に活動できるような物的・人的な環境整備に力を入れています。保育室には、子どもの年齢や発達に合わせた玩具や絵本が子どもの視線に合わせて設置されていて、子どもが自由に選んで主体的に遊べるようになっています。自由遊びの時間には、子どもたちは友だちと一緒にごっこ遊びをしたり、将棋やカード遊びをしたり、一人でじっくりとブロックの作品作りをしたりしています。保育士は、子どもの遊ぶ様子を見守り、遊びに入れられない子どもに寄り添って一緒に遊んだり、友だちとの仲立ちをしたりし、それぞれの子どもが自分らしく過ごせるように支援しています。行事などは、子どもの意見や興味を反映していて、5歳児からのお泊り保育をやりたいという声を受けて、卒園遠足ではなくお泊り保育を実施するなど、子どもの意向を保育に反映しています。幼児はおにぎり遠足として、おにぎりを持って遠くの公園に出かけることもあります。子どもたちは様々な経験をし、それぞれのペースで園生活を楽しんでいます。

●保護者との関係作りに力を入れています

園は、子どもが安定して園生活を過ごすために保護者との信頼関係作りに力を入れています。朝夕の送迎時には、保育アプリの連絡帳だけでなく、口頭でも子どもの様子について密に情報交換しています。全園児、子どもの姿と個別のねらいを記載した個別の月案を作成して保護者に渡し、必要に応じて口頭でも説明しています。懇談会や0・1歳児は保育参観、2歳児以上は保育参加を実施し、保護者が園への理解を深められるようにしています。クラスの活動や子どもの姿は、毎月の園だよりやSNS、動画配信などで伝えています。年2回の個人面談のほか、必要に応じて随時面談を実施して保護者の相談にのり、保護者が子どものことを理解し、安心して子育てができるように支援しています。このような取り組みを通して保護者との信頼関係が築かれていて、今回の保護者アンケートでは、全員が満足と回答しています。

●地域の施設として、地域と良い関係が築かれています

園は、保育理念や全体的な計画に地域との関わりについて明記し、地域と連携した取り組みに力を入れています。コロナ禍以降は滞っていた地域との交流が復活し、盆踊りやハロウィン、クリスマスコンサート、焼き芋などの園の行事に地域住民をお誘いし一緒に楽しんでいます。ベビーマッサージなど子育て支援事業も実施しています。勤労感謝の日には、会社の方や地域の警察署の方、近くの公園でカメを飼育している方、近隣住民の方々に感謝の思いを描画等の作品にして届けています。近隣会社の人が例年、クリスマスのサンタクロースとして協力してくれるなど、地域と良い関係ができています。近隣の保育園と合同で不審者侵入時訓練を行ったり、川崎市幸区の保育園と年長児交流をするなどの交流もあります。

【今後に期待される点】

●マニュアルや規程などの整備をしていくことが期待されます

園では、感染症や事故対応などの各種マニュアルを整備して、事務室に置き、いつでも確認できるようにしています。職員会議や園内研修などでは、標準的な実施方法について振り返りをし、職員間で共有しています。ただし、マニュアルや規定類によっては文書化されていなかったり、見直しが不十分なものがあります。また、法人のマニュアルが園に周知されていないものも見られます。職員の交替等に備え、職員がいつでも確認できるようにマニュアルや規程を整備していくことが期待されます。

●人材育成の体制を構築し、職員と共有していくことが期待されます

一人ひとりの目標管理のための仕組みがあり、園長面談で目標を設定し、職員一人ひとりの個別研修計画を作成しています。園独自の取り組みとして、2人で組を作って会話する「フレンド」や同僚からの評価と園長面談で改善点と良くできている点を明確にする「360度評価」を取り入れ、職員同士がより良い関係で業務にあたるように取り組んでいます。ただし、目標項目、目標水準などは明確でなく、客観的な評価が難しい状況です。また、配置、昇進、昇格等の人事基準も明確になっていません。職員自らが将来の姿を描くことができるような、人材育成の体制を構築し、職員と共有していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めに、この度保育園の評価に協力していただいた保護者の皆様に感謝を申し上げます。今回の評価において、保護者の皆様はほぼ100パーセントの方々からご意見をいただいたことで園の評価を更に深めることができました。また、保護者の皆様から高い評価を頂けたことは、これまでの日々の努力や取り組みが伝わったことが示された事として大変嬉しく思いました。このような肯定的なフィードバックを受けることは保育園として励みになりました。今後も保護者の皆様との信頼関係を強固なものにしていく努力を惜しむことなく続けていきたいと考えます。

そしてその為には、現在抱えている課題にも真摯に向き合い、解決策を見つけていく必要があります。保育園の運営において特に重要な課題としてマニュアルの整備、人材育成、保育の質の向上があげられるかと思えます。

保育の質の向上に関しては子ども達が安心して過ごすことができることはもとより、子ども達がいきいきと毎日を過ごすために必要な事や、子ども達の未来につながる働きかけとは何なのか、職員一同保育を振り返りながら考え続けていきたいと思えます。

今回、第三者評価を受けてこのような事を改めて考えさせられ、さらに目標がはっきりとしました。今後も子ども達の健やかな成長と幸福に貢献していきたいと考えています。

尻手すきっぷ保育園 高橋和美 佐越直人

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり